



Yamano Holdings

2025年3月期 第2四半期決算 補足資料(速報版)

2024年11月14日

株式会社ヤマノホールディングス
(東証スタンダード 7571)

■「既存事業の収益安定化」策は、改善の余地は残るものの概ね順調

営業体制の最適化 ……全5事業のうち、4事業で店舗当り平均売上高が改善、美容事業も現場維持
不振事業の構造改革…前期営業赤字のDSM事業、リユース事業は、赤字幅が縮小
伸長事業の盤石化 ……堅調を続ける教育事業は、利益率の上昇を伴い、事業規模を拡大

■上期業績は、和装宝飾の減収分を各施策の効果で吸収し、収益改善

(単位:百万円)	2024/2Q累計 実績	2025/2Q累計 実績	増減	増減比	
売上高	6,811	6,845	+33	+0.5%	➤ 構造改革の実行による減収分を、教育事業でカバーし増収
売上総利益	3,448	3,415	△33	△1.0%	
(売上総利益率)	(50.6%)	(49.9%)	(△1.0p)	-	
販管費	3,456	3,420	△36	△1.1%	➤ 和装宝飾が減益となるも、教育に加え、前期苦戦した3事業が改善し増益
(販管費率)	(50.7%)	(50.0%)	(△0.7p)	-	
EBITDA	48	49	+1	-	}
(EBITDAマージン)	(△0.1%)	(0.7%)	(+0.8p)		
営業利益	△8	△5	+3	-	
(営業利益率)	(△0.1%)	(△0.1%)	(+0p)		
経常利益	4	△13	△18	-	➤ 前期の営業外収益の特殊要因がなくなり減益
当期純利益	9	△63	△54	-	➤ 当社及び教育事業2社の税金費用等が増加に伴い減益

※EBITDA 営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費含む)の合計額

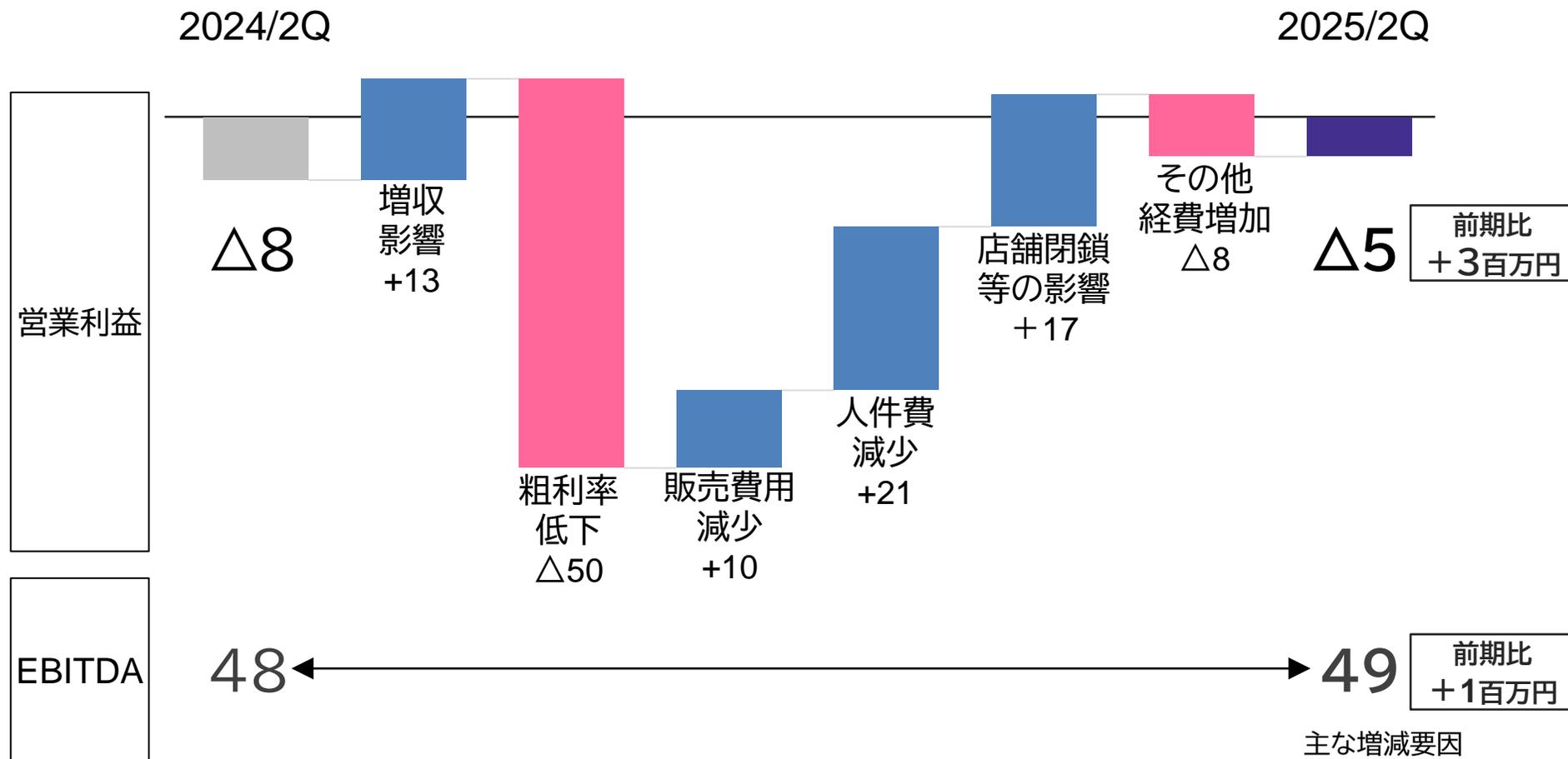
要素別 営業利益／EBITDA 増減要因



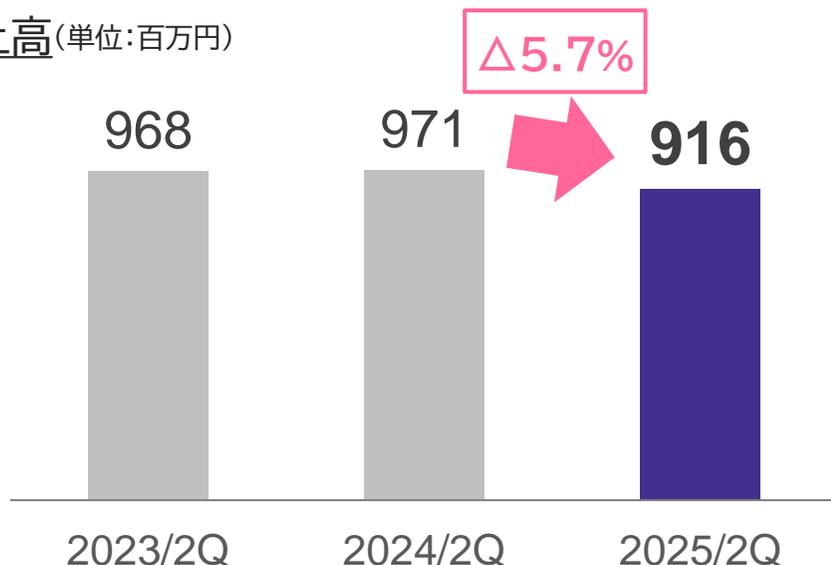
Yamano Holdings

- 売上構成比の高い和装宝飾事業の粗利率低下により売上総利益が減少
- 増収影響に加え、各重点施策の効果で固定費等が減少し、前年比プラス

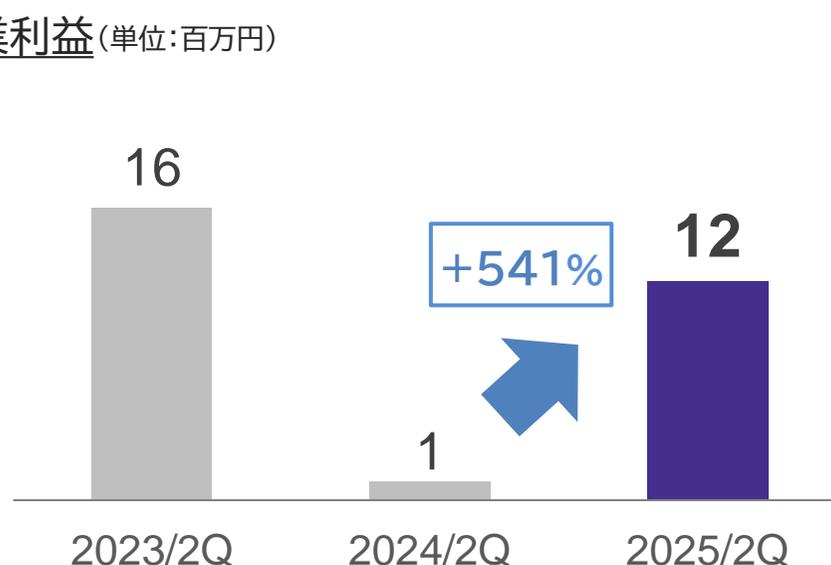
(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



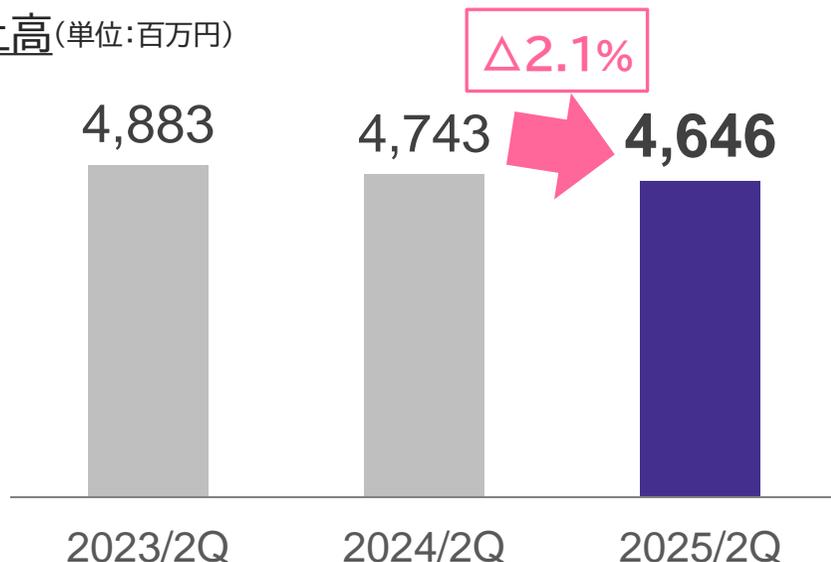
■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1店舗当り 平均売上高	維持 →	99.9%
1店舗当り 平均営利率	上昇 ↑	+1.1pt
損益分岐点	改善 ↑	△8.4%

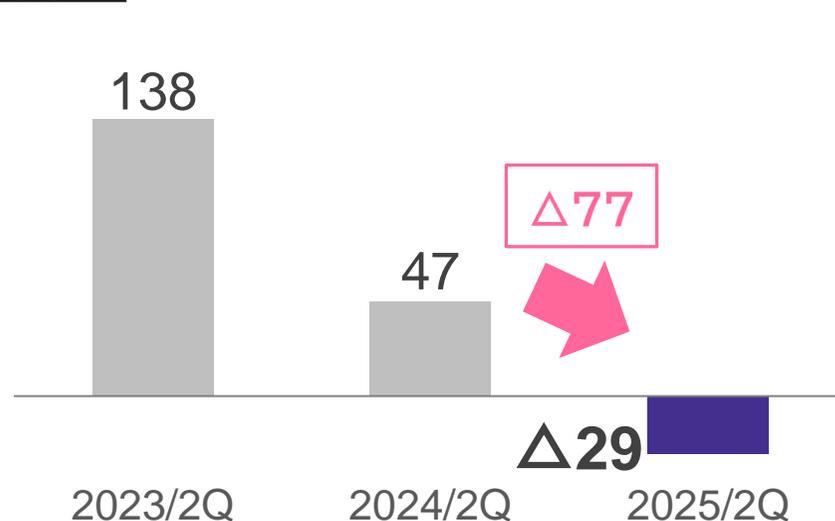
■主な取り組み

- 事業環境の変化に対し、店舗業態転換やFC化等を推進、1店舗当り平均売上高は維持
- 不採算店舗の閉鎖を実行、営業資源の最適化が進み、収益性向上に繋がる
- 育成強化による店舗稼働率の上昇、店舗閉鎖による固定費削減効果等により、収益力向上

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



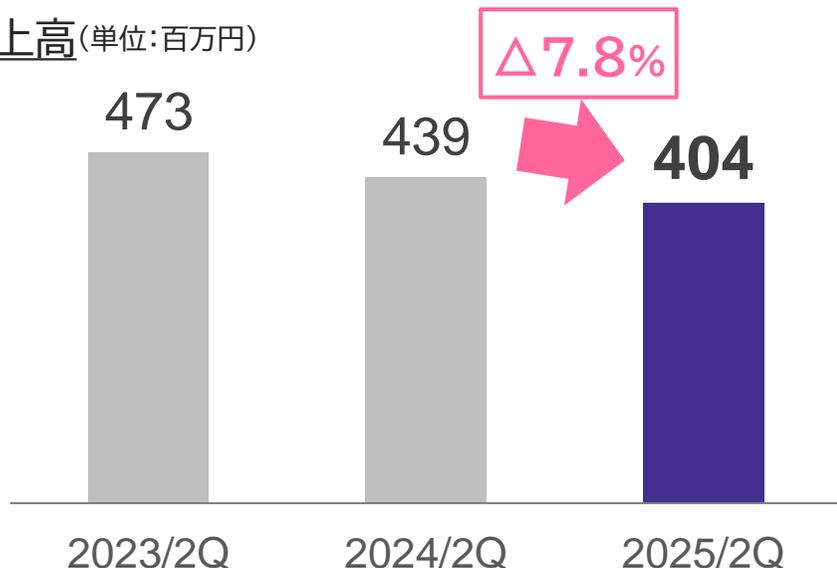
■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1店舗当り 平均売上高	上昇 ↑	101.4%
1店舗当り 平均営利率	悪化 ↓	Δ1.9pt
損益分岐点	悪化 ↓	+1.6%

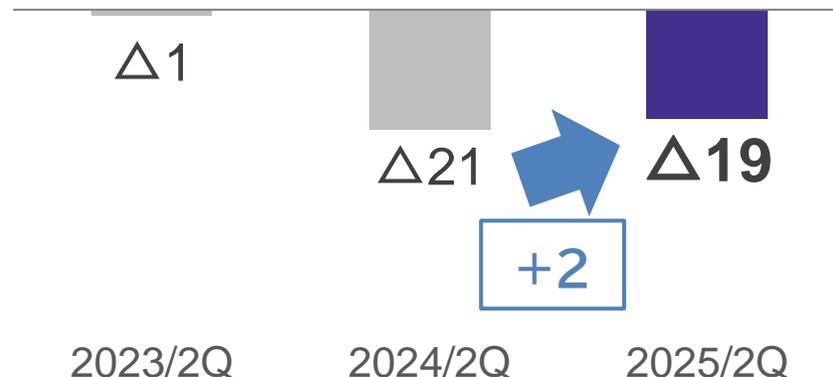
■主な取り組み

- 大型展示販売会等が好調に推移し受注量は改善。一方、納品の一部遅れ等の影響で売上高は減少。
- 減収影響による粗利額の減少に加え、店頭企画の強化による商品MIXの変化で粗利率が低下
- 粗利率の低下、店舗閉鎖による現状回復費の増加等で固定費が増加し、損益分岐点は悪化

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



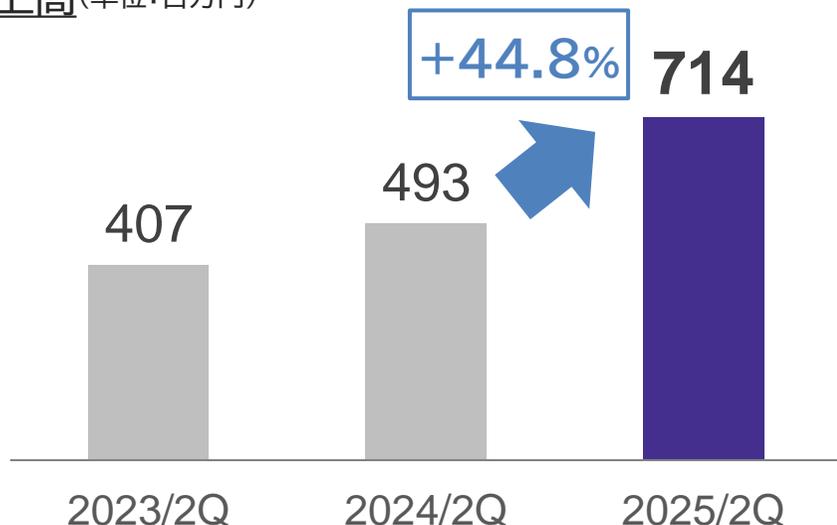
■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1拠点当り 平均売上高	上昇 ↑	106.8%
1店舗当り 平均営利率	維持 →	Δ0.1pt
損益分岐点	改善 ↑	Δ8.0%

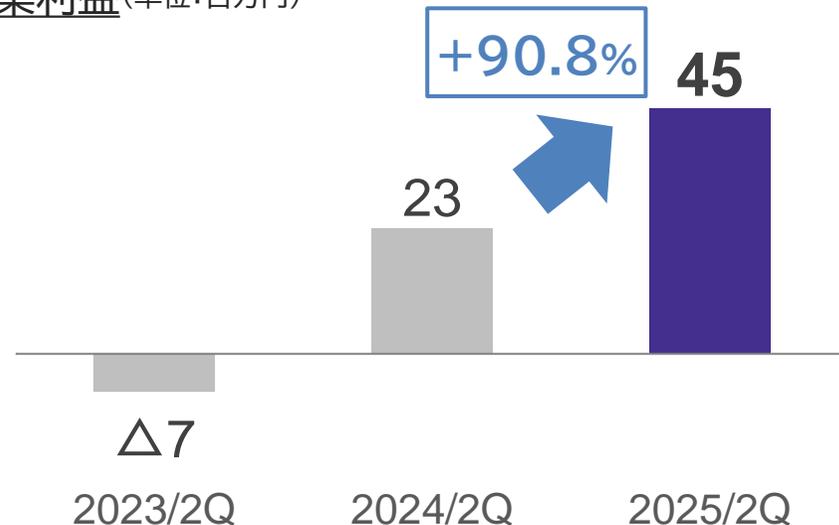
■主な取り組み

- 新規紹介キャンペーン、休眠顧客の活性化、合同催事の強化等で1拠点当り平均売上高は改善
- 販売員稼働率の低下による影響はあった一方で、拠点の統廃合による固定費の減少、販売費用の抑制等で赤字幅は縮小

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



■上期の進捗状況 ※既存2社対象

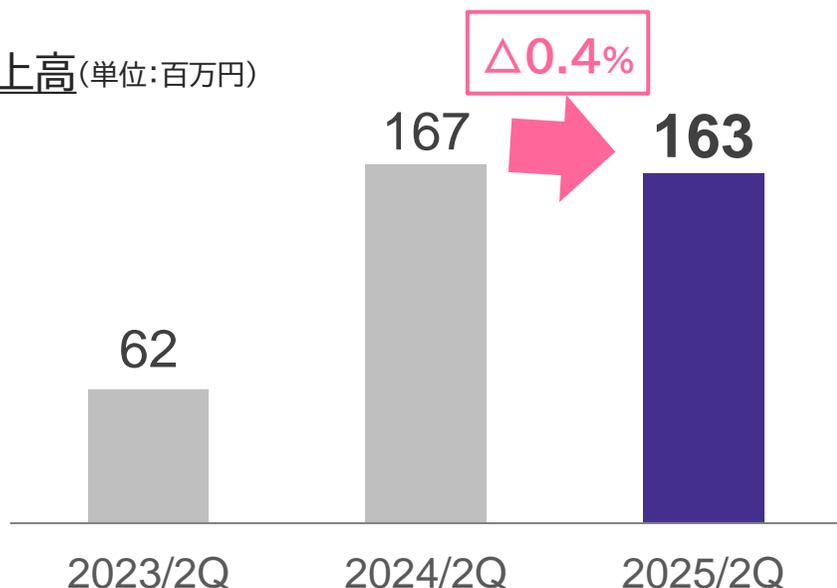
主要KPI	評価	前年比
1店舗当り 平均売上高	上昇 ↑	107.9%
1店舗当り 平均営利率	上昇 ↑	+4.1pt
損益分岐点	改善 ↑	Δ0.9%

■主な取り組み

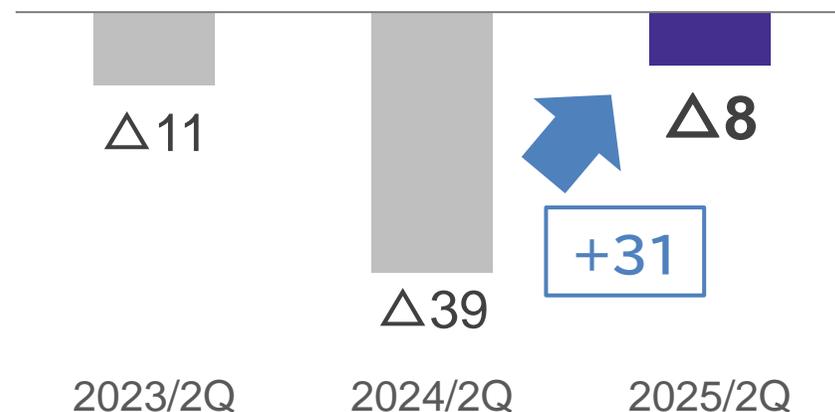
- 前期グループ入りした「灯学舎」が期初より売上に寄与。PMIも順調に進捗。
- 若手従業員の積極採用、継続的な現場力の改善活動等により、1教室当り平均売上高は上昇
- 上期ポイントの夏期講習の売上は堅調に推移し、利益率も上昇

その他の事業(リユース事業)

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



■上期の進捗状況

主要KPI	評価	前年比
1店舗当り 平均売上高	上昇 ↑	101.9%
店舗販売 構成比	上昇 ↑	89%(+16pt)
損益分岐点	改善 ↑	△27.9%

■主な取り組み

- 仕入先の安定化により、商材不足が解消。販売価格の上昇、仕入原価の低下に繋がり収益性改善
- 販売オペレーションの改善を進め、高粗利商品が多い店舗販売を強化
- 粗利率の改善に加え、倉庫・店舗作業の内製化が進み固定費が減少、損益分岐点が大幅に改善

連結貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2024/3末	構成比	2024/9末	構成比	増減
資産合計	8,647	100.0%	7,903	100.0%	△743
流動資産	6,865	79.4	6,135	77.6	△729
固定資産	1,781	20.6	1,767	22.4	△14
有形固定資産	317	3.7	319	4.0	+1
無形固定資産	363	4.2	353	4.5	△10
投資その他	1,100	12.7	1,095	13.9	△4
負債・純資産合計	8,647	100.0%	7,903	100.0%	△743
負債合計	7,423	85.9	6,751	85.4	△672
流動負債	5,560	64.3	5,043	63.8	△516
短期借入金	1,340	15.5	1,210	15.3	△130
固定負債	1,863	21.5	1,707	21.6	△154
長期借入金	1,462	16.9	1,300	16.5	△161
純資産合計	1,223	14.1	1,152	14.6	△71

主な変動要因

流動資産

- ・借入金返済等による現預金の減少(△347)
- ・売掛金の減少(△441)

固定資産

- ・構造改革実行に伴う店舗閉鎖等による敷金・保証金の減少(△39)

流動負債

- ・前期末の休日影響による支払手形・買掛金の減少(△102)、電子記録債務の減少(△90)
- ・短期借入金の返済による減少(△130)
- ・前受金の減少(△89)

固定負債

- ・長期借入金の返済等によるの減少(△161)

純資産

- ・当中間期純利益(△63)
- ・その他有価証券評価差額金の減少(△7)

自己資本比率 14.6%(+0.5pt)

- 営業キャッシュフローは、休日影響等で減少(実質的には前2Qより大幅改善)
- 財務キャッシュフローは、有利子負債の圧縮により減少

	2023/9	2024/9	前期 増減	主な増減要因
営業キャッシュフロー	199	129	△69	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仕入債務の休日影響△502 ▶ 不採算店舗閉鎖等による売上債権の減少+411
投資キャッシュフロー	△48	△98	△50	
フリーキャッシュフロー	151	31	△120	
財務キャッシュフロー	54	△378	△432	▶ 有利子負債の圧縮(短期借入金減少△500)
現金及び現金同等物の増減額	205	△347	△552	
現金及び現金同等物の期首残高	2,830	2,243	△587	
現金及び現金同等物の期末残高	3,036	1,896	△1,140	

■ 2024年5月15日に公表した通期業績予想から変更はございません。

<下期の主な取組み>

- 和装宝飾事業の商品引渡し活動の強化による納品遅延の解消
- 「既存事業の収益安定化」策の継続的な実行による更なる収益性の向上

(単位:百万円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減額	増減比(%)
売上高	13,837	14,000	+163	+1.2
EBITDA※	220	370	+150	+68.1
(EBITDAマージン)	(1.6%)	(2.6%)	(+1.0P)	—
営業利益	100	260	+160	+157.8
経常利益	102	230	+128	+125.2
当期純利益	△28	120	+148	—
EPS(円)	△0.83円	3.44円	+4.27	—

※EBITDA 営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費含む)の合計額

免責事項

本資料は、当社の業績概要、ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ
経営企画部
Tel: 03-6743-9377
Mail: ir@yhc-net.com